

# 紫波町アクセス

## Access Map アクセスマップ

**高速道**

- 東北自動車道 紫波 I.C. (紫波 I.C. までの所要時間)
- 青森県 I.C. より 2 時間 20 分
- 八戸 I.C. より 1 時間 43 分
- 秋田中央 I.C. より 1 時間 50 分
- 平泉前沢 I.C. より 38 分
- 仙台宮城 I.C. より 1 時間 50 分
- 浦和 I.C. より 6 時間 7 分

**一般道**

- 盛岡駅より国道 4 号を南下。車で 40 分
- 盛岡バスセンターより 岩手県交通白濁線バスで 50 分

**航空路**

- 大板国際 (伊丹) 空港 → いわて花巻空港：1 時間 25 分
- 名古屋 (小牧) 空港 → いわて花巻空港：1 時間 10 分
- 福岡空港 → いわて花巻空港：2 時間
- 新千歳空港 → いわて花巻空港：1 時間 5 分
- ※花巻空港より国道 4 号を北上。車で 25 分

**JR**

## 紫波町デマンド型乗合バス「しわまる号」

お客様からの要求に応じて、ご自宅から目的地まで送迎する、利便性の高いバスです。1 台の車中に他の利用者とも「乗り合い」していただくことで効率的な運行を行います。その形態はいくつかありますが、紫波町では時刻表も運行ルートも定めない、「フルデマンド」方式で運行をしています。

**デマンド型乗合バス「しわまる号」の運行内容**

- 対象 県内などにご利用いただけます。
- 運行日 原則毎日運行（土日、祝日も運行します。）
- 運行区域 紫波町全域
- 運行時間 午前 8 時～午後 5 時 30 分 (最終の利用者を運ぶために町内の商業施設を出発するの午前 8 時、最後の利用者が目的地に着くまで午後 5 時 30 分となります)
- 乗降場所 希望乗降所を設定しませんで、自由に乗降場所を設定できます。
- 利用料金 1 人 1 回 (内道) 500 円 (乗合発生料 300 円) ※小学生は 1 人 1 回 200 円 (乗合発生料 100 円) ※乗降料は無料 (体験型乗降場専用車に乗車してください)
- 利用方法 電話またはスマートフォンから予約が必須です。
- 【電話予約の場合】予約受付センター (019-606-7211) 上記の番号に電話をかけた後、オペレーターに乗降場所を伝えてください。オペレーターが可能な時間をお知らせします。乗車時間になりましたら乗降場所に車両がお迎えにあがります。

紫波町内への観光のし合わせ

**岩手県 紫波町** (一社)紫波町観光交流協会

〒028-3332 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2-3-1 TEL 019-672-2111 FAX 019-672-2311 http://www.town.shiwa.iwate.jp/ E-mail: info@town.shiwa.iwate.jp

〒028-3318 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2 TEL 019-676-4477 FAX 019-676-4422 http://www.shiwa-kanko.jp/ E-mail: info@shiwa-kanko.jp

# 紫波町の特産

**紫波町で“旬”を満喫**  
自然豊かな郷土で、真心込めて育てた農産物・畜産物は、“生産者の誇り”です。

**しわもちもち牛®**  
紫波町の『黒毛和種牛』に、町産のもち米『ヒメノモチ』を食わせて育てた。その名も『しわもちもち牛』。もち米の甘み・コクのある肉質です。



**りんご**  
フルーツの里・紫波町を代表する果物りんご。町内の産直には収穫時期にもなれば、たくさんの品種のりんごが出荷される。早生から晩生まで季節が進むごとに品種が移り変わりますので、季節毎にお好みのりんごを選ぶのも楽しいです。

**ぶどう**  
県内有数のぶどう生産者数と栽培面積を誇る。生産者が切確琢磨して作るぶどうは品質・味ともに良い。町内の産直には収穫時期になると美味しいぶどうがずらり。特に果樹栽培の盛んな紫波町の東部に位置する産直は、品質も品数も豊富で夏のお土産や贈答用に最適です。

**そば**  
紫波町は県内一の生産量を誇るそばの産地です。8 月下旬から 9 月上旬には白い可憐なそばの花が咲き、綺麗な景色が広がります。毎月第一日曜日はオガール広場で手打ちの二八そばを食べられます。稲藪第一農産加工組合のお母さんたちが出張して教えてくれる蕎麦打ち体験もあります。

# 紫波フルーツパーク

県内有数のぶどう生産量を誇る紫波町。ぶどうの栽培が盛んな町の東部地区にあるが紫波フルーツパークワイナリー。適度な寒暖差等ぶどう栽培に適したこの土壌で育ったぶどうで醸造する「自園自醸ワイン」。メルロ、リースリング・ヴィオネ、ミュラートルカガウなど 100% 紫波町産のワイン専用品種のみを使用し醸造しています。この土地に根差した日本ワインをお楽しみください。テイस्टングもできる直売所も併設されています。

## 紫波サイダリー

紫波町全域の農家から様々な種類の美味しいりんごを仕入れ、アメリカンスタイルのホップサイダーを造っています。

〒028-3442 岩手県紫波郡紫波町升沢字田中18  
e-mail shiwaecider@gmail.com  
tel. 019-658-8670

# 「南部杜氏発祥の地」紫波町で、蔵元自慢の日本酒をお楽しみください。

風土を生かした酒米専用田を所有し、米造りから一貫生産して品質にこだわっている。呑みやすく、飽きの来ない味を目指している。

**高橋酒造店**  
Takahashi Liquor Store  
岩手県紫波郡紫波町片寄字畑米36  
TEL 019-673-7308

創業明治36年。「廣く喜ばれる酒」造りをモットーに、全量酸基醗酵造りで、米のうまみを追求したおいしい酒造りに取り組んでいる。

**廣田酒造店**  
Hirotaki Liquor Store  
岩手県紫波郡紫波町宮手字泉屋敷2-4  
TEL 019-673-7706

創業明治19年。日本酒はもちろん自社の酒粕を使った焼酎や自前のりんご園のりんご果汁を使った「りんご梅酒」。米こうじを使用したジェラートなども人気。

**有限会社 月の輪酒造店**  
Tsukinowa Liquor Store  
岩手県紫波郡紫波町高水寺字向畑101  
TEL 019-672-1133

「南部杜氏」発祥の蔵をルーツに持ち、伝統の技と現代的な技術による若手らしい酒造りを目指している。

**合名会社 吾妻嶺酒造店**  
Azumamine Liquor Store  
岩手県紫波郡紫波町土器字内川5  
TEL 019-673-7221

# 蔵元発酵の町 紫波町

若手県中央部に位置し、醸造に適した環境に恵まれた当地紫波町。町内には老舗造り酒屋が四蔵あり、平成にワイナリーが、令和になり、りんごを原料としたサイダー(シードル)工場が「社それぞれ誕生しました。日本酒の原料で醸生しました。であり、県内有数の高品質なぶどうを利用したワインの生産やりんごを原料にしたサイダー、生産も始まりました。日本酒は、日本三大杜氏と名高い「南部杜氏」発祥の地であり、日々伝統と現代的な技術の高い融合により全国的にも評価の高い銘醸地として知られており、フルーツの里としても県内有数の当地は、特にぶどうの生産が盛んで、これを利用したワイン造りが行われており、官民一体となったワイン醸造所設立、ワイナリズムの取り組みが紫波町産ワインのファン獲得に貢献しています。同じく町内産のりんごを利用した新しい取組として、町内在住の外国人による本格的な「サイダー(シードル)」の生産が始まっており、一般的な清涼飲料水としてのサイダーではなく、原料のりんごを発酵させたアルコール分を有する発泡性の果実酒は、その爽快な飲み口が話題となっており、紫波町の大自然が育んだ水と空気、そしてお米、ぶどう、りんごが織りなす魅惑の「ハーモニー」は是非皆様もお試し下さい。

# 紫波町 紫あ波セマップ。マツフ。SHIWA

# ラ・フランス温泉館・ホテル湯楽々

東根山の麓のラフランス畑から湧き出た水が名の由来となっているラ・フランス温泉館。「美人の湯」として知られている泉質は、アルカリ性単純温泉。和・洋の大浴場の他、露天風呂、檜風呂、サウナ、寝湯など充実しています。お風呂が空いたら地産地消レストラン「味処あづまね」へ。地元特産のそば粉で作った手打ちそばやしわもちもち牛を使った「紫波もちもち牛コロッケ」、「紫波もっちりハムカツ」、定食、麺類、軽食などメニューも充実しています。その他、大広間や温泉プールもあり一日楽しむことが出来ます。お帰りの際は売店にて紫波のお土産をどうぞ。ご宿泊や宴会の方はホテル湯楽々へ。

**ラ・フランス温泉株式会社**  
〒028-3444 岩手県紫波郡紫波町小屋敷字新在家9番地  
TEL: 019-673-8555 FAX: 019-673-8556

# 紫波町を体験しよう!

**1年中楽しい 紫波フルーツパーク体験工房**

**【体験工房一番人気!】本格石窯ピザ作り体験**  
地元、岩手県紫波町の「南部小豆」や「ゆきちから」を使った手作りピザ体験ができます。のびた生地に、工房特製のトマトソースや味噌ソースに地元の野菜とベーコン・ソーセージをたっぷり乗せて、本格石窯で一気に焼きあげます。【体験時間】2時間~3時間程度 【体験人数】3~30名 ※体験人数によって体験時間が変わります。  
体験料 (材料費含) 大人 (中学生以上) 1,760円(税込) 小学生~3才 1,210円(税込) ※ご予約は3名様より承ります。※上記の金額にてお一人様2枚のピザが焼きあげられます。

**【紫波町産そば粉で打つ二八蕎麦】そば打ち体験**  
地元、紫波町産のそば粉と小豆粉ゆきちからで二八蕎麦をつくります。【水回し→練り→延ばし→角出し→たたき→切り】の6行程全てをから体験。体験者さんのペースに合わせてゆくり進めますので、子供から高齢者まで体験できます。自分で打った蕎麦は切り方によっても太さも様々々々、とても蕎麦の持つ味と香りが、喉ごしは最高です!! 多く食べても、もちもちとした食感が美味いです。蕎麦打ちの前になって、蕎麦打ちセットを買った方もラホネ→1鉢、約3~4人前でできますので、打ちたてその場で食べてくれるのも良い。お持ち帰り頂くのも可能です。【体験時間】2時間程度 【体験人数】1~12名  
体験料 (材料費含) 大人 (中学生以上) 1,760円(税込) 小学生~3才 1,210円(税込) ※上記の金額で3~4人前のそば (1鉢分) が出来ます。何名かで鉢を一緒に体験することも可能です。最大4鉢まで対応可能です。詳細は電話にてお問い合わせください。

**ぶどう狩り**  
体験期間：9月上旬~9月下旬 ※生育状況等変更となる場合があります。 ※午前と午後で入れ替えとなり、各時間内の食べ放題となります。 ※持ち帰り分につきましては別途料金がかかります。 ※予約は必要ありません。直接会場までお越しください (ただし10名様を超える団体様の場合、事前に電話にてご予約をお願いします)。 ※天候や来園者数によって開催期間は変更となる場合があります。また開催期間内であっても時期によって食べられるぶどう品種が異なりますのでご了承ください。 ※ビニル屋根がありますので多少の雨でも大丈夫ですが、畑の中での収穫体験となりますので、汚れても良い動きやすい靴や服装をおすすめします。  
体験料 (材料費含) 大人 (中学生以上) 1,500円(税込) 小学生~3才 1,000円(税込)

**株式会社 紫波フルーツパーク**  
〒028-3535 岩手県紫波郡紫波町遠山字松原1番地11  
TEL: 019-676-5301 FAX: 019-676-5349

# オガール

オガールプロジェクトは、都市と農村の新しい結びつきを創造します。「暮らす、働く、学ぶ、集う、憩う、楽しむ」……。新しく豊かで魅力的な持続的に発展する街を目指します。

オガールプラザは、紫波町情報交流館 (図書館と地域交流センター)、子育て応援センターの公共施設と、病院やカフェ・居酒屋、産直、ショップなどの民間施設で構成される、官民複合施設です。「知りたい、学びたい、遊びたい」を支援する図書館に代表されるように、館内で行われるイベントにも、多くのお客様が訪れています。

民間複合施設のオガールパークには、日本初のバレーボール専用アリーナやホテル、飲食店、コンビニエンスストア、薬局、事務所が展開。東京五輪カナダ事前キャンプ地にも選ばれる本格的な施設ですが、どなたでも利用できます。100名もの子供達が通うバレーアカデミーもあります。

オガールセンターは子育て環境の充実を図り新しいライフスタイルを提案する施設。教育サポート施設や小児科 (病児保育)、アウトドアショップやペカバリー、美容院、ジムを展開。紫波の空をゆっくり愉しめる「OGAL terrace」(ホテル別館) もおすすめです。

これらの施設他、紫波町役場庁舎、岩手県フットボールセンター、オガール保育園などで構成されるオガールエリア。断熱性能の高い住宅が並ぶオガールタウンエネルギーステーションから熱供給があるなど、環境にも配慮したエリアです。エリアの中心には、紫波町の象徴である田園風景と都市空間をつなぐシンボリックな「オガール広場」があり、年間を通じて多くの人の憩いの場となっています。

〒028-3318 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1丁目岩手県8番地12  
TEL: 019-681-1256 FAX: 019-681-1257

# 奥州平泉文化を支えた歴史ロマンを訪ねて

古代から砂金産出地であった紫波町は、世界文化遺産「平泉」の黄金文化を支え、北方交易の拠点の地でもありました。奥州藤原一族の樋爪館跡と、足利斯波氏の高水寺城跡や家臣の城館跡など、多くの史跡・遺跡があります。歴史の舞台にたびたび登場する陣ヶ岡陣営跡には、源頼義・義家親子や源頼朝など、名だたる武将が宿営しました。紫波町には、黄金や源義経にまつわる伝説をはじめ、さまざまな伝承や遺跡が町のあちこちに残されています。

国道4号沿いにある五郎沼周辺は、世界遺産平泉と同様な町並みや寺院・館が広がる奥州藤原氏の一族、樋爪氏の拠点でした。太郎俊衛の居館・政庁と伝わる樋爪館跡や大銀通跡、大社蔵寺や薬師堂などの寺院跡、道路で区画された町並があった小路口通跡などの地域一帯に史跡が広がっています。俊衛の弟、五郎季衛が泳いだことから名付けられたと伝わる五郎沼は樋爪館と同じ頃に造られ、現在の堀が250年にわたり紫波 (斯波) 郡を支配した。現在の城山公園は板の地名として人が高く、園道4号から見える板一色の城跡の景観も素晴らしい。周辺には源頼朝ゆかりのある走湯神社や木堂神社、高水寺十一面観音像 (県指定文化財) などがあがる。

**斯波御所とも呼ばれた、高水寺城跡・城山公園**  
室町幕府とゆかりの深い足利斯波家長が、多賀城に対抗する北朝の拠点として築いた高水寺城は県内有数の規模を誇り、都が当時の遺構が多く残る山城です。この地は斯波御所とも呼ばれた北奥羽の中心地として栄え、斯波氏が250年にわたり紫波 (斯波) 郡を支配した。現在の城山公園は板の地名として人が高く、園道4号から見える板一色の城跡の景観も素晴らしい。周辺には源頼朝ゆかりのある走湯神社や木堂神社、高水寺十一面観音像 (県指定文化財) などがあがる。  
☑ 紫波町二日町字園道21-2 ☑ 紫波中央駅・古館駅から車で約10分、徒歩約40分

**紫波町の観光案内人**  
「まちの案内人」たちが、テーマや目的に応じて紫波町の魅力を楽しく伝える。  
一般社団法人 紫波町観光交流協会  
〒019-676-4477 平日 (9:00~16:00) ☑ 019-676-4477

紫波町の歴史や遺跡などについてホームページでも詳しく紹介しています  
http://www.shiwa-kanko.jp/

**歴史と憩いのスポット、樋爪館跡と五郎沼**  
園道4号沿いにある五郎沼周辺は、世界遺産平泉と同様な町並みや寺院・館が広がる奥州藤原氏の一族、樋爪氏の拠点でした。太郎俊衛の居館・政庁と伝わる樋爪館跡や大銀通跡、大社蔵寺や薬師堂などの寺院跡、道路で区画された町並があった小路口通跡などの地域一帯に史跡が広がっています。俊衛の弟、五郎季衛が泳いだことから名付けられたと伝わる五郎沼は樋爪館と同じ頃に造られ、現在の堀が250年にわたり紫波 (斯波) 郡を支配した。現在の城山公園は板の地名として人が高く、園道4号から見える板一色の城跡の景観も素晴らしい。周辺には源頼朝ゆかりのある走湯神社や木堂神社、高水寺十一面観音像 (県指定文化財) などがあがる。  
☑ 紫波町南日詰字清清水 ☑ 日詰駅から徒歩で約10分、車で約2分

**八百年の時を経て咲く五郎沼の「古代蓮」**  
7月頃になると五郎沼畔の古代蓮の地で、特色の蓮の花が美しく咲き誇る。平成14年(2002)に中尊寺から移分けされた「古代蓮」だが、もともとの地に生えていたものだという。奥州合戦で藤原義経の首が陣中に晒されたが、後に蓮の花々や中尊寺の僧侶が、蓮の種とともに首桶に納め、密かに中尊寺金色堂に安置したと伝えられている。昭和25年(1950)の中尊寺半塔講堂の修繕の際の首桶から見つかった蓮の種が、現代の古代蓮の種と一致している。昔高山の麓には木道七仏薬師如来立像を祀る薬師堂や磨崖碑、正音寺の毘沙門天立像などが残されている。また赤沢川ではかつて多くの砂金が採取され、現在は水田が多く生産する清流です。6月から7月にはあじさいロードが見頃となり、あじさいまつりも開催される。  
☑ 紫波町赤沢字田中35 ☑ 日詰駅・紫波中央駅・古館駅から車で約15分

**「志和の稲荷さん」と親しまれる志和稲荷神社・古稲荷**  
志和稲荷神社は源頼義・義家が陣ヶ岡に布陣したおり、戦勝を祈願して建立した神社。樋爪俊衛・季衛が再建し、斯波詮直が社殿を新築。その後、南部氏代々の祈願所として存せし、盛況から「稲荷街道」の参道も整備された。境内の奥には千年の大杉もそびえる。また、すぐそばの志和稲荷神社は台座で倒壊した杉の根元から出てきた古稲荷のミイラを祀る神社として信仰を集めている。又付近に白狐稲荷社もあり、近所に稲荷社が並ぶ珍しい地域でもある。  
☑ 紫波町升沢字前平17 ☑ 019-673-7608 ☑ 日詰駅・紫波中央駅・古館駅から車で約15分

**源義経ゆかりの義経神社**  
赤沢地区には源義経にまつわる伝説が多い。義経神社を興持する大商家の屋敷には「朝宮堂」で、義経ゆかりの家と伝えられている。地名の「鶴越」「矢鳥」「釣場」は、義経が「鶴越の逆巻」とし、つながる馬術や弓術の鍛錬をしたという伝説の場所。判官堂の見学は事前予約が必要。  
☑ 紫波町赤沢字水戸戸114-3

**金山開発を行った、隠れキリシタン**  
紫波町の東部一帯には多くの金山跡がある。その中で江戸時代初期に隆盛を誇ったのが佐佐木の金山群である。その金山の探掘と精錬に携わったのが丹波波野十郎をはじめとした多くのキリシタンである。佐佐木内、石森山正業寺はこの墓守として建てられたお寺で、ゆかりの伝説などが残されている。  
☑ 紫波町磁ヶ崎

**名將たちの夢の跡・陣ヶ岡陣営跡**  
前九年合戦の源頼義・義家親子や奥州合戦の源頼朝など、名將たちのエピソードが残る陣ヶ岡陣営跡。史跡内には、前九年合戦の勝利を感謝して頼義が動員したと伝えられる蜂神社や日の輪月の輪形の地の跡などがあり、約30分ほどの歴史散歩が楽しめる。春は桜と若手山の景色、初夏にはアジサイの名所となる。  
☑ 紫波町宮手字陣ヶ岡9 ☑ 紫波中央駅・古館駅から車で約10分、徒歩約30分

**日の輪月の輪形**  
史跡の西端にある。前九年合戦で陣ヶ岡に陣を構えた源義家が、池に源氏の旗印である日月(太陽と三日月)が浮かぶのを見て勝利の現れと信じ、一気に前川の橋へ攻め入ったという伝説が伝わる。

**藤原経清から始まる伝承の地、白山神社・薬師堂**  
奥州藤原氏初代清衡の父、経清の母を供養したと伝えられる御や経理のある白山神社。伝承では、清衡が阿弥陀堂を、秀衡が社殿を再建し毘沙門堂や薬師堂を建てたとなっている。昔高山の麓には木道七仏薬師如来立像を祀る薬師堂や磨崖碑、正音寺の毘沙門天立像などが残されている。また赤沢川ではかつて多くの砂金が採取され、現在は水田が多く生産する清流です。6月から7月にはあじさいロードが見頃となり、あじさいまつりも開催される。  
☑ 紫波町赤沢字中野17 ☑ 019-673-7608 ☑ 日詰駅・紫波中央駅・古館駅から車で約15分

# 紫あ波せさんぽMAP

コロナに負けない！紫波の事業所応援！！



**歩く喜びと景色を楽しむ東根山トレッキング**  
標高928m。登山道が整備されていて山頂まで約5キロの道のりを2時間半ほどで登れる初心者でも登りやすい山。天気の良い日は岩手山、姫神山、早池峰山が一望できる。毎年秋には全長13kmを周遊するマウンテントレイルが開催される。



**ラ・フランス温泉**  
東根山の麓に広がる温泉&アクティビティスポット。登山帰りの疲れはここで放そう。



**オガールエリア**

- 1 鮎清次郎 紫波店  
紫波中央駅前2-3-48  
019-601-5971
- 2 中桜飯店  
紫波中央駅前2-3-12  
オガールベース内  
080-3334-1256
- 3 オガールレストラン  
紫波中央駅前2-3-12  
オガールベース内  
070-5472-1504
- 4 ご馳走DEがんす  
紫波中央駅前2-3-12  
オガールベース東棟1F  
019-672-2848
- 5 じゃじゃめん 八番  
紫波中央駅前2-3-12  
オガールベース東棟1F  
019-672-2848
- 6 4832 The SUGAR  
紫波中央駅前2-3-3  
オガールプラザ内  
019-601-6988
- 7 大家食堂GIRAFFE  
紫波中央駅前2-3-3  
オガールプラザ内  
019-613-2278
- 8 potato deli Mameta  
紫波中央駅前2-3-3  
オガールプラザ内  
090-6021-5860
- 9 The BAKER  
紫波中央駅前2-3-94  
019-601-8830
- 10 クラフトクラフト  
紫波中央駅前1-2-2  
090-2024-1461

**商店街エリア**

11 純米ニトロ 日詰字郡山駅15 サンプラザ日詰2F 019-681-1711	19 焼肉よかろ 日詰字郡山駅191-4 019-672-3979
12 まんがめし喫茶ひよこ堂 日詰字郡山駅15 サンプラザ日詰2F 080-6019-1318	20 満腹工房 福龍 日詰字郡山駅187-3 019-676-4723
13 レストラン 寿苑 桜町字下川原71-1 019-676-3955	21 食道かわむら 日詰字郡山駅184-2 019-676-2148
14 あづまある 日詰字郡山駅33-2 090-2792-2741	22 御食事処 松竹 日詰字郡山駅96 019-672-2732
15 街の駅なバザール 日詰字郡山駅226 019-672-4131	23 レストラン&カフェ レルッシュ 日詰字郡山駅165-1 019-613-5925
16 藤屋食堂 日詰字郡山駅46 019-672-3020	24 ピアック大盛軒 日詰字郡山駅75 019-672-2813
17 エーデルワイス 日詰字東裏102 019-672-2360	25 天狗寿司 日詰字東裏5 019-676-2651
18 ミルクホールマイカ 日詰字郡山駅210-1 019-618-8098	

**水神社**  
水の神として祀られてきた神社。良質な湧き水が出ることから、町民に親しまれ汲みに通う人も多い。東根山の麓に位置し、周囲を樹齢約700年の杉の群生に囲まれていて、そのうち17本は町指定天然記念物に指定されている。

**志和稲荷神社**  
志和の「おいなりさん」と仰がれ五穀豊穡や交通安全の守り神として多くの参拝者が訪れる。境内には樹齢1000年を超える御神木があり観光スポットとしても人気。

**志和古稲荷神社**  
昭和29年に御神木大杉の根本の空洞から御簀戸白キツネのミイラが出現した全国でも珍しい稲荷神社。農業・商工業・漁業・交通安全・建築土木関係、とりわけ開運福德の神として深い信仰の源として県内外より崇敬されている。

**武田家住宅**  
築年数240年以上の108坪もある南部曲り家。座敷の上手に立派な底園を遺し、普通の民家ではなく、家格の高い家構えを示しており、建物と庭園、周囲の環境が一体となり、好ましい景観を形成している。※外観のみ見学できます。

**志賀理和氣神社**  
紫波の名前に由来する赤い霊石が祀られていることから、地元では「赤石さん」の名前で親しまれている。参道には樹齢約500年と推定される町指定天然記念物の「南面の桜」がある。9月の例大祭には山車や神輿が町を練り歩く。

**八戸藩志和代官所跡**  
寛文(かんぶん)4年(1664年)南部藩2代藩主山城守重直(やましろのかみしげなお)が嗣子(しし)(世継ぎ)を決めないまま死去したため、幕府の裁断により南部藩は8万石の盛岡藩と2万石の八戸藩に分割された。その時に、後の上平沢、稲藤、上土館、下土館、北片寄、中片寄、南片寄の7ヶ村が八戸藩の飛地として編入された。その統治の役所が役文5年の春設置された志和代官所だった。代官所は正面に役屋(役所)を構え、その裏側に米蔵と錢倉があり、それ以来歳月を重ねる二百余年、この間に歴任した代官は百二十余人に及んだ。明治5年3月1日を以て廃止されるに至った。

**勝源院の逆ガシワ**  
本堂裏にある推定樹齢300年の巨木。昭和4年に国の天然記念物に指定されたこのガシワは、地上1mで4本の支幹に枝かれし、それぞれの枝が地面を這うように伸び、まるで枝が根のように見えることから逆(さかさ)ガシワと呼ばれている。

**五郎沼**  
植瓜太郎俊衛の弟、五郎季衛が泳いだことから名付けられたと伝わる。春は桜、冬には白鳥が飛来する憩いの場のスポット。

**紫波町物産館**  
道の駅紫波内にあり、紫波町産のワイン・地酒・サイダーの販売の他、県内の土産も多数取り揃えている。併設するレストラン果里ん亭では食事の他、ソフトクリームも人気。

**平井家住宅**  
豪商、平六商店(現・菊の司酒造)の第12代平井右衛門が、当時の総理大臣、原敬を迎えるために、約3年の歳月をかけて造った邸宅。平成28年(国指定重要文化財に指定された県内でも数少ない大正時代の邸宅。

**紫波ローズガーデン**  
道の駅紫波から車で3分。北側に雄大な岩手山、南側に赤沢地区の田園風景を見渡せる丘陵に広がるバラ園。園内には約600種、1500株以上のバラを植栽しており、年2回(6月~7月、9月~10月)開催されるバラ祭には一斉に咲き誇る。

**野村胡堂・あらえびす記念館**  
『銭形平次捕物控』の作者・野村胡堂、音楽評論家・あらえびす、2つの顔を持つ野村長一(おさかず)の生涯と業績を紹介する記念館。日本屈指のレコードコレクターだったあらえびすの約7,000枚のSPレコードや蓄音機も展示されている。

**山脈のミスバショウ群落**  
山脈のミスバショウ群落

**佐比内サイクルパーク「金輪の丘」**  
平成28年10月に開催された希望郷いわて国体自転車ロードレース競技のゴール地点として整備した自転車ロードレース競技における拠点施設。

**赤沢あじさいロード**  
初夏の頃、一周約5キロの道沿いに約5,000株の紫や青のアジサイが綺麗に咲き誇る。雨に濡れたアジサイも良いが、晴れた日の空の青とアジサイとのコントラストも最高。



## — 感染症対策にも取り組んでおります —

<b>中央エリア</b>	<b>東部エリア</b>	<b>南部エリア</b>	<b>西部エリア</b>	<b>北部エリア</b>
26 ココス紫波店 日詰西1-2-4 019-671-2331	33 すき家紫波店 桜町字浦田14-1 0120-498-007 (お客様相談窓口 受付9時~21時)	46 いわちく森の中の直売店 ジヨバニ 小屋数字新在家90 (例)いわちく内 019-676-2135	47 ラ・フランス温泉館 レストランあづまね 小屋数字新在家90 019-673-8555	57 拉麺太極 高水寺字福村48-18 019-672-4956
27 十割そば はらべこ 日詰西1-2-8 019-676-6085	34 麺や 椿 桜町字浦田113-1 019-676-4956	48 里の山食堂 小松本字境92 019-673-6130	48 吉水字祭山38-1 019-673-8105	58 くるまやラーメン 紫波店 高水寺字福村50-1 019-676-3929
28 お食事処 はば野 日詰西2-1-6 090-1806-5566	35 まるまつ紫波店 北日詰字東ノ坊39-2 019-671-1250	49 ら〜めん大将 上平沢字南馬場5-14 019-681-7160	49 岩手ゴルフクラブ 土館字馬ノ子1-1 019-673-7121	59 酒茶房 花梨 中島字前橋6-2 019-672-6607
29 立呑処 SUNSET 日詰西2-1-6 090-6223-9679	36 寿し政 北日詰字白旗38-1 019-676-6095	50 AZUMANE倉庫 下松本字上渡89-3 019-601-2855	50 日高食堂 大巻字大巻40-3 019-676-3952	60 甘味処高福餅店 高水寺字土手52-1 019-672-2250
30 VILLA Rosso tre 紫波店 桜町2-1-1 019-681-7888	37 カフェレモン 日詰駅前2-1-1 019-676-6199	51 江釣子屋 志和稲荷店 上平沢字八幡142 090-2026-9312	51 和 純 橋内字上屋敷51 019-613-5750	61 たかくら 二日町字大橋35-19 019-672-6222
31 Aji-Q 日詰店 桜町字中屋敷14-1 019-672-6021	38 七久保食堂 二日町字西七久保46-4 019-676-3950	52 後 庵 上平沢字南馬場5-14 019-681-7160	52 御食事処わんこいん 橋内字小畑58-3 019-613-3227	
32 いどや 桜町字浦田12 019-676-4444		53 吾妻屋 上平沢字南馬場7-2 019-673-8167	53 レストラン&カフェ かりん亭 遠山字松原7-8 019-601-3632	

**町内の産直施設** 市街局番(019)

紫波マルシェ ● 672-1504	● 紫波町紫波中央駅前2-3-3 オガールプラザ西棟 ● 9:00~18:40 ● 9:00年始 ● http://www.ogal-shiwa.com/
産直センターあかさわ ● 676-5201	● 紫波町遠山字松原7-1 ● 8:30~17:00 (季節によって変更あり) ● 12月31日~1月3日
紫波町物産館 ● 671-1300	● 紫波町遠山字松原7-8 ● 9:00~17:00 ● 年末年始 (12月31日~1月2日) ● https://shiwa396.exblog.jp/
紫波ふる里センター ● 674-2757	● 紫波町比内字馬場80-1 ● 8:30~18:00 (5月~10月)、8:30~17:00 (11月~4月) ● 無休 ● http://www.shiwa-furusato.com/
産直あぐり志和 ● 673-7684	● 紫波町片寄字山田前441 ● 9:00~18:00 (夏期)、9:00~17:30 (冬期) ● 無休
ルート396長岡 ● 672-5031	● 紫波町西岡字下野1-1 ● 9:00~17:00 ● 年末年始
あづまね産直組合 ● 673-7364	● 紫波町上松本字内方117 ● 9:00~18:00 (夏期)、9:00~17:00 (冬期) ● 水曜
産直センター大巻 ● 672-1144	● 紫波町大巻字桜田29-1 ● 土曜、8:30~18:00 (4月~10月)、8:30~17:00 (11月~3月)
彦部産直 楽々(らら) ● 674-2510	● 紫波町彦部字川久保165 ● 土曜、9:00~17:00 (夏期)、9:00~16:00 (冬期)

併設施設など 食べる ● 所在地 ● 電話番号 ● 営業時間 ● 定休日 ● ホームページアドレス